

ある町の 天気相談所

Vol.67 2023.7.7

令和5年7月号



6月の雨

6月は、降水量が多くなる日が多く、月合計降水量は393ミリと6月として、過去2番目に多く、年間を通して6番目に多い記録となりました。6月2日は前線による雨で長く降り、6月28日と29日は上層寒気の影響で大気の状態が不安定となり、短い時間での大雨となりました。

2023年6月の降水量に関する記録

- 月合計降水量 **393.0** ミリ
- 6月として2番目に多い
- 年間でも6番目に多い
- 6月2日の日降水量 **135.5** ミリ
- 6月として3番目に多い記録
- 6月28日日最大1時間降水量 **46.0** ミリ
- 6月として3番目に多い記録
- 6月28日日最大10分間降水量 **15.5** ミリ
- 6月として3番目に多い記録

6月の気候

6月は、本州付近に前線が停滞することが多く、台風が南の海上を進むなど、湿った空気も入りやすくなるときが多くなりました。気温は平年より高い日が多く、月平均気温は21.8℃と平年よりかなり高く6月としては過去最も高くなりました。最高気温の平均も6月として過去最も高く、最低気温の平均は6月として2番目に高くなりました。雨の日が多くなったため、月合計日照時間は120.2時間と平年の98%でした。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

7月は前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は晴れの日が多くなる見込みです。気温は平年並みか高く、後半はほぼ平年並みで、平均気温は「高い」降水量は、「平年並みか多い」日照時間は「ほぼ平年並み」の予想です。



熱中症の注意の呼びかけ

熱中症にかかりやすい気象条件が予想される場合、気象庁や環境省から様々な情報が発表されます。これらの情報を上手に利用して熱中症を防ぎましょう。

2週間前

「早期天候情報」5日間平均気温がかなり高くなると予想された場合発表されました。地方単位であり、具体的な日時や気温はありませんが、熱中症にかかりやすい気象条件になる可能性が高まっていることがわかります。

1週間前

「週間天気予報」具体的な気温や時期がわかります。

前日

「明後日まで天気予報」週間予報より精度が高い予報です。

「熱中症警戒アラート」

夕方5時に翌日の暑さ指数が33以上になると予想される場合発表されます。茨城県内でどこか一か所でも基準を超えると予想されると、茨城県全体に発表されます。そのため、日立市でも基準を超えているかというところということは少なく、発表文中に日立市の予測も記載されますので、参考にお使いください。

引用文献

熱中症環境保健マニュアル2022

環境省編



天気用語の基礎知識

乾燥注意報

空気の乾燥により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、大気の乾燥により火災等が発生する危険が大きい場合である。日立市においては、秋から春先にかけて発表され、夏の日に発表されることは少ない。逆に冬には毎日のように発表されることもある。北西の季節風が山をこえるとより空気が乾燥するため、日立市は冬の湿度が低くなることが多く、注意が必要である。乾燥については警報や特別警報はなく、注意報のみである。

・・・神峰の山から・・・

ほぼ毎日、観測のために屋上に上がっています。屋上に行くといろいろな動物や昆虫を見かけますが、6月は特に鳥を見かけることが多くありました。6月のはじめは「ハクセキレイ」が、6月の下旬は「ツバメ」が屋上によくとまっていました。なお、鳥の名前は推定です。



ハクセキレイは警戒していました。ツバメは個体が多く、飛んだり休んだりを繰り返していました。